

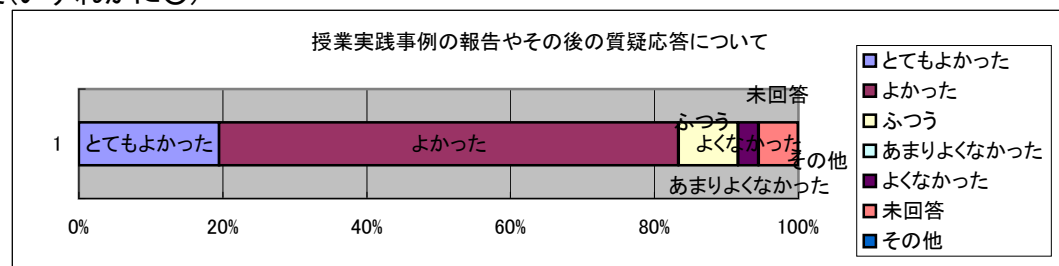
「大学授業研究会」アンケート(第2回 10月7日)

1. 日文 西山 明美先生 2. 情報 福井 哲夫先生 3. 心福 井上 雅勝先生

参加人数	100
アンケート回収枚数	36
アンケート回収率	36%

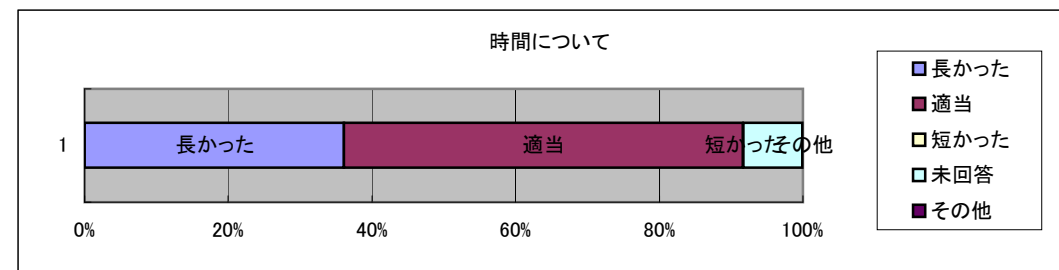
1. 授業実践事例の報告やその後の質疑応答について(いずれかに○)

とてもよかった	7
よかった	23
ふつう	3
あまりよくなかった	0
よくなかった	1
未回答	2
その他	0



2. 時間について(いずれかに○)

長かった	13
適当	20
短かった	0
未回答	3
その他	0



3. 自由記述コメント(抜粋) 32 件

会議のため後半しか話を聞けませんでした、三人の先生が、それぞれの専門をふまえてよく工夫されていると感じました。大切なことはそれぞれ教員が自分の持ち味を生かした取り組みをすることがあると思います。個々の先生の工夫もありますが、大学で学ぶ意義をしっかりと伝えることが必要だと考えます。たとえば、卒業できたらよい、資格がとれたよい…ではなく、どう生きていくかという問いかけを常になげかける必要があると思います。
・授業の展開例が具体的にイメージできた。 ・西山先生によるe-Learning には感動しました。書は動画によって学習できることが、発想の転換につながった。 ・井上先生による質的考察はとても役立った。 ・福井先生が使われているu Can をもう少し自分自身で学ぶ必要があると感じた。
所定の時間内に報告をお願いします。
いつも通り、多くのヒントを頂くことができました。
特に井上先生のお話は、学生達の心理的側面からの分析が行われていて、新たな見方を提示して下さっていて、非常によく理解できた。
評議会で途中まで聞けなかったのが全体の感想を述べることはできないが、講義の中味ではなく現状や対策についての研究・報告であったことが、参考になり興味深かった。

井上先生のご発表がこれまでにない形で楽しく聞けた。
特に井上先生のお話はためになりました。
私語と成績の検証は必要かもしれません。
各話題提供の先生方の創意工夫を拝見することができ、今後の参考としたい。私自身もすでに行っている方法技術もみられたので、そのことについては継続してゆきたいと考えている。
・井上先生の論路的なトークは興味深かったし、面白かった。(学会報告を聞いているようだった。)
・西山先生の学生への動機づけ＝「あなた方は世界で活躍する女性です」というのはすばらしいと思った。(仮に皆がそうでないにしても)嬉しいと思うし、勉強しようという気になる学生もいると思う。
・福井先生のプリントの工夫(記入空欄を設ける、小テストを設ける)などは参考にしたいと思った。
・どの先生も授業の工夫をされていたので、大変勉強になった。
・自分の授業を改善するためのヒントをたくさんいただいた。
・指定席制が効果があったということをうかがい驚いた。そうであれば定期試験こそ指定席にするべきだと思う。
各先生の実体験、更には詳細なデータに基づく報告は大変説得力がありました。
一部の先生の発表で、音声が小さかったり、情報機器の操作に手間どることがあったので、残念であった。
・各授業への工夫や私語対策が参考になった。
・西山先生には、授業の物理的環境などの背景も説明してもらわないと、先生の工夫やe-learningの意味づけがはっきりしてこないように思う。
・活発な意見交換が勉強になった。
司会の先生から1人15分の発表と説明してほしい
井上先生の考察は、非常に参考になった。
もう少しディスカッションがしたかった。
私語をへらすことと学習効果を上げることが一致することが重要だと考えます。安易に席を決めることは、授業を、真面目に受けたい意欲のある学生達の学習する自由をそこない、全体の学習効果を下げるのではないかと考えます。
個別の報告よりも、問題を大きく捉える視点が必要。そういう意味では、三番目の報告は有意義で勉強になった。
・井上先生の報告が興味深かったです。3本のうち1本は、こういう議論の枠組みに関わるものを入れた方が盛りあがり、成果もあがると思います。大教室、大人数の授業がダメなのがわかっているので、先生の多忙化が進まない形で、条件整備することが早道だと思います。
インパクトがあって、参考になりました。
・座席指定によって、個人を限定させる方法の有効性
・ズバツと指摘することが大切
・指導の持続性も大切
私語がへるにより、学習効果が上がることが重要であると思う。
学科としての取り組みに関しても興味があった。(心福)
途中からの参加でしたが、授業研究会の趣旨に沿った内容の発表だったと思います。更に「私語」についてのとらえ方を広げる内容(特に井上先生の方)のものが、提示されたことは良かったと思います。
個人的に井上先生のご発表がたいへんおもしろく勉強になりました。もっと伺いたかったです。まるで教育学系のご研究のような分析とたいへん明瞭なプレゼンテーションはわかりやすかったです。
心理・福祉学科・井上先生の報告が、大変おもしろく、参考になった。
井上先生の客観的な分析が大変参考になりました。
私語というテーマの際は、FDではできれば大人数の講義科目についての発表を聞きたい(西山先生の実践はすばらしいと思うが、直接には役に立つとは思えないので)。

・西山先生の声が聞きとりにくかったです。(マイクが遠かった)
・お一人15分ということでしたが、15分という時間設定にそもそも無理があるのでは…？
・井上先生のご発表は興味深かったです。時間もほぼ守られていましたし。
司会者の先生が15分間の発表で質問を30分とと言われる。はじまりが4時 発表 4時45分で終了し 終了が5時15分というTime Table
各自先生方が工夫して授業をしていらっしゃる事が良くわかるが、あまり参考とはならなかった。(一般的な仕方である)
井上先生の分析はわかりやすく、私語を考えるよき方向性を示しているのではないかと思います。井上先生の調査を全学的にやってみるのもよいのではないのでしょうか。
授業内容の説明のみで、「私語のない…」というテーマに沿ってないように感じられるものがみられた。

4. 今後の希望(抜粋) 17 件

今後こういった意見交換の場をもつということに大きな意味があると思います。他の学科や普段話をする機会の少ない人の考えが聞けるので、大変と思いますがよろしくお願いします。
発表時間が均等になるようにしたいですね。
上記に述べたように、各先生の対応・方法などを聞きたいと思う。
本研究会の開催回数について、後半1回程度にして頂けますとありがたいと思います。多種多様の実践例を拝聴することは、大変勉強になりますが、消化しきれないことと、自己の授業に参考・応用する時間的余裕がないことです。ゆったりとした時間を頂戴したい。
もともと、1人の発表者の持ち時間は何分なのか？15分と聞いているが、それが頭の中にあるとどうにも長いと感じてしまう。むしろ15分にしないで30分とする方が良いのか？ いずれの場合にしても時間厳守は基本だと思う。FD委員会の方がこのことはしっかり発表者に伝えておかないと、発表者の方が悪い印象を持たれることになり、かえって失礼になるのではないか。
更なる充実企画を期待します。
失敗から学ぶような話を聞けると参考になるように思う。
私語をへらすことが教員の自己満足に終わるのはいけないと考えます。
今回のような形式・テーマは良かったと感じました。私語への教員の取り組みを継続することを希望します。
事例が身近になってきているように思います。ということは、核心に近づいてきているようにも思います。
大学全体の取り組みとして、今後、非常勤講師の方々にも、授業研究会の議論の要点を折々に知らせる「努力」が必要と考えます。
おひとりずつのご発表をもう少し短くしていただくか、発表者の人数を少なくするなど、全体の時間をもう少し短くしていただく方が集中しながら先生方のご発表を聞くことができますと思います。
大人数の講義科目における双方向の授業例をぜひ
何時までの予定で実施されるのか事前に教えていただきたいです。
発表の時間をきっちり決められて聞きたい時に入れるような一般講演会のようなスタイルで行ってほしい。
私語が多い先生が私語をなくすためにどのように取り組まれたかという発表が今後あればよいと思う。この希望を書いた理由は、私語で非常に困った経験をおもちの先生が発表されてはいないもしくは少ないのではないかと思います。

5. 所属

日文
英文
教育
健スポ
心福
環境
食物
情報
建築
音楽
薬学
共通
教研
事務
未回答
計

1
4
3
4
6
4
2
0
0
2
3
3
0
0
4
36

